

令和4年度 学校経営計画書

石川県立門前高等学校

校長 中澤 賢

1 教育目標

- (1) ふるさに誇りを持ち、自ら学習を調整することで身につけた資質・能力を活用することにより、地域の活性化に貢献できる人間
- (2) 高い規範意識と活力に溢れ、自分の良さや可能性を認識するとともに、多様な人々と協働できる人間

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 市や地域、同窓会と連携して、受検者数の増加につながる魅力ある学校づくりを推進している。
- ② 探究活動、ボランティア活動や部活動等とおして、自ら学習する経験を積むことで、確かな学力を定着させ、国公立大学合格者を含めた進路志望の実現に努めている。
- ③ 上記活動を通して、公共心と規範意識を高め、個々の成長や役割を実感させることで人間としての在り方生き方を充実させ、地域社会の創り手育成につなげている。
- ④ 七尾特別支援学校輪島分校と連携を充実させ、インクルーシブ教育を推進することで、共生社会の担い手の育成を図っている。
- ⑤ 目標を明確にし、PDCAサイクルで検証しながら、分掌業務や教科指導を行う必要がある。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 中高一貫連携型教育の利点を活かし、将来地域の未来を担う人づくりを進めるため、中高6年間を通した継続的な教科指導に努める。
- ② 将来を見据え、校内外の教育活動とおして、個々に応じた学び方を身につけ、学力の育成を図る。
- ③ 地域の行事参加やボランティア活動等とおして自己効力感を高め、地域振興の方策を提案・実践できる資質・能力・態度や豊かな人生を送るための生きる力を育成する。
- ④ 他者を思いやり、互いを尊重する心を育てるとともに、主体的に自らの将来を拓くたくましい人格形成を図る。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 生徒の目線で自己の教科・生徒指導を振り返り、授業力を高める工夫・改善に取り組む。
- ② 市や地域、同窓会と連携して、学校の魅力化に取り組み、生徒・保護者・地域の信頼と期待に応える教育活動を実践する。また、その成果を積極的に広報する。
- ③ 探究活動において、地域や関係機関との連携を密に行い、地域貢献の育成指導ができる資質・能力の向上を図る。
- ④ 目標をPDCAサイクルで検証しながら効率的・戦略的な校務を推進する必要性を理解し、質の高い教育活動とワークライフバランスの両立を図る。
- ⑤ 教職員の参画意識を高め、組織的に学校経営を遂行する。

3 今年度の重点目標

- (1) 県や市・地域の事業を活用した探究活動や課外活動を軸として学校全体の活性化を図り、魅力ある学校づくりを推進する。
- (2) 一人一台端末を使った授業改善を進め、生徒の多様な進路実現を図る。
- (3) 若手・中堅教職員の教科指導力や生徒理解力、ICT活用力、危機管理能力等の実践的な指導力向上に努める。
- (4) 目標を明確にして校務を遂行し、PDCAサイクルで取組の検証・見直しを行い、業務改善を進める。
- (5) ワークライフバランスやタイムマネジメントを意識しながらも、質の高い教育活動に取り組む。